

第2回那珂川町文化祭

11月4日、5日の2日間、町総合体育館で文化の秋を彩る書道や文芸、写真などが展示され、大勢の見学者でにぎわいました。

また11日には、あじさいホールで那楽民謡舞踊祭が催され、民謡や吟詠、詩舞など日ごろの練習の成果を披露しました。23日には馬頭総合福祉センターで歌謡祭が行われ、訪れた皆さんの人が演歌や歌謡曲を楽しみました。



大輪の菊花咲き競う

第35回小川地区菊花盆栽展

11月3日から12日にかけて、小川総合福祉センターあじさいホール前で第35回菊花盆栽展が開催され、丹精された178点もの立菊や盆菊、松柏などの盆栽が会場を埋め尽くし、延べ1,930人の見学者でにぎわいました。

なお、最優秀賞受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- | | |
|-------------|-------|
| 町長賞 | 小泉 晴夫 |
| 議会議長賞 | 軍司 孝一 |
| 農業委員会会長賞 | 小口喜久寿 |
| 商工会会長賞 | 船見 静江 |
| 観光協会会長賞 | 佐原十四二 |
| 文化協会会長賞 | 薄井 弘光 |
| 那須信用組合長賞 | 阿見ケエ子 |
| 那須南農協小川支所長賞 | 小室 清是 |
| 那珂川南部漁協組合長賞 | 桧山 定吉 |
| (株)まほろば小川賞 | 星 秦市 |
| 菊花盆栽会長賞 | 阿見ケエ子 |

馬頭むらおこしセンターで美術館に寄付

11月8日、「道の駅ばとう」を運営する「馬頭むらおこしセンター」は馬頭広重美術館に教育文化基金として100万円を寄付しました。

道の駅ばとうの木村美津子店長は「町民に恩返しする意味で寄付します。美術館には、より一層集客を図っていただければ」と話し、手渡された藤田館長は「貴重なお金を寄付いただき大変ありがたい。作品購入に充てたい」と応えていました。



ふるさと交流事業

健武小学校

11月1日健武小学校で、児童と地元高齢者とのふるさと交流事業が行われました。

この交流事業は普段地元の高齢者との交流が少ない児童たちが、昔遊びなどを通して文化や伝統に触れるとともに、高齢者への敬愛といたわりの心を育むことを目的に毎年実施しています。高齢者は約50人が参加しました。

児童たちが育てた芋や米を使って餅やおにぎり、スイートポテト、いもチップ、とん汁などの料理が出来上がりました。

参加した高齢者の方は「毎年来ています。本当にうれしいです」とお土産にももらったもちを手に話しました。



第3回広重紅葉まつり

馬頭広重美術館無料開放

「広重紅葉まつり」が11月18日、「心のふるさと馬頭へみんなで行こうよ！」を合言葉に、役場前広場などを会場に行われました。

馬頭商工会まちづくり委員会が中心となって行っている広重紅葉まつりも今年で3回目となり、役場前広場・中心商店街・美術館周辺で多彩なイベントが行われ、訪れた人たちに真心のこもったサービスでもてなしていました。

また、馬頭広重美術館の無料開放にも町内から大勢の人たちが訪れ、烏山女子高の琴演奏などのライトアップコンサートを楽しんでいます。



小砂焼陶器市

よろこびの森 感謝祭

11月5日、小砂地内では「登り窯祭」や「よろこびの森感謝祭 津軽三味線コンサート」が行なわれ、大勢の観光客などで賑わいました。

秋の登り窯まつりとして定着している小砂焼陶器市は、今年で10周年を迎えました。

また、別会場となったよろこびの森では「たくさんの人びとがほほえんでいます ほほえみに感謝」をテーマに感謝祭が行われ、町内外から約100人が訪れ、自然の中で聞く踊正太郎さんの津軽三味線の力強い音に、感動していました。



- ① 街角美術館 広重東海道五十三次「切り絵」展示
- ② 中心商店街は帯を再利用したタペストリーでお出迎え
- ③ 街角コンサート (オカリナアンサンブル)
- ④ 手作りキャンドル

